

# 平成 21 年度研究の基本構想および取組

## 1 センター研究の基本的な捉え方について

平成 16 年度より、学校教育部指導課の業務内容の見直し、総合教育センターへの業務移管、及びそれに伴う指導主事体制の新たな整備が推進され、この流れの中で、当センターでは、平成 17 年度に、カリキュラムセンター、情報・視聴覚センター、特別支援教育センターの新たな設置などにより、総務室・5センター体制に移行した。

指導主事の職務内容についても、従来の「研究、研修」を主とする業務に加え、総合教育センター処務規則での指導主事の職務に「学校教育に関する専門的事項の指導」の文言が加えられたとおり、指導行政の一翼を担う立場となっている。

そこで、現在の当センターの教育行政に置かれている役割をかんがみ、研究の視点を次の 4 点に整理することとした。(別紙「研究体系図」参照)

### ○政策課題研究

■本市の教育施策、及び教育課題等に関する企画・立案

■教育課題への対応、教育施策の推進

□指導主事研究プロジェクトの随時設置

- ・全国学力・学習状況調査検証改善に関する研究
- ・学校評価支援に関する研究
- ・小中連携・中高一貫教育に関する研究
- ・教育・保育計画案作成研究

### ○調査・基礎研究

■教育活動、及び児童生徒の実態に係る調査研究

□指導主事研究プロジェクトの計画的設置

- ・川崎市小学校 5 年生・中学校 1 年生における学級風土と教師の実践知についての研究
- ・不登校未然防止に向けての支援プログラムの作成
- ・情報モラル教育の推進
- ・特別支援教育体制充実事業調査基礎研究
- ・幼児教育に関する研究

### ○実践研究

■各教科等教育活動に係る指導内容、指導方法等の充実・改善を目的とした実践的、先導的研究

■各教科等の教育指導のための教材・資料等の作成・開発を目的とした実践的、先導的研究

□研究体制の計画的設置

- ・長期研究員・研究員による研究会議  
国語、音楽、道徳、特別活動、小学校外国語活動、高校教育、映像制作、学校教育相談
- ・専門研究員、カウンセラー研究員の研究
- ・指導主事・研究員による研究会議  
健康教育、国際理解教育、教育資料収集、ICT 教育利用、特別支援教育

### ○外部機関との共同研究

■指定都市共同研究、各教育研究所連盟等との連携研究、市内各校との共同研究等

- ・コンピュータ教育利用共同研究（下沼部小）
- ・指定都市共同研究 ・全国教育研究所連盟 ・神奈川県教育研究所連盟
- ・関東教育研究所連盟事務局

## 2 平成 21 年度 実践研究の基本構想

### 1) これまでの研究の経緯

○平成 13～15 年度 研究総括主題 「川崎の特色が生きる教育の創造」

「生きる力」を川崎の現状を踏まえてとらえなおすとともに、学校教育と社会教育の両面から「生きる力」の育成をめざし、川崎らしさがにじみ出る教育の研究に取り組んできた。川崎の教育において育てたい資質や能力を、「自ら学ぶ」「共に学ぶ」「学び続ける」という 3 つキーワードから、21 世紀を展望した教育の創造に関する研究を推進した。

○平成 16～18 年度 研究総括主題 「豊かな学びをはぐくむ川崎の教育の創造」

教育における不易のものとしての「学び」を研究の中心に据えていきたいと考え、平成 13 年～15 度に作成したこれまでのキーワードを継承しながら副主題「共生を軸にして」を設定して研究を推進した。

○平成 19 年度 研究総括主題 「一人一人がいきいきと輝く川崎の教育の創造」

平成 17 年 3 月、今後 10 年間の本市の教育の在り方についてまとめた「かわさき教育プランー市民の力が教育を変えるー」が策定された。このプラン目標である「多様化する価値観の中で、子どもと大人が共に生き、一人一人がいきいきと輝く学習社会を創造する」「地域の学習のネットワークを支援し、地域教育力の向上へつなげる」の目標の実現に向けて研究総括主題を設定した。

### 2) 実践研究総括主題

平成 20 年 4 月に「かわさき教育プラン 第 2 期実行計画」が策定され、実行計画の 6 つの重点施策「共に生き、共に育つ環境を創り、心を育む」「地域の中の学校を創る」「学校の教育力を高め、確かな学力を育成する」「個性が輝く学校を創る」「安全・安心で快適な教育環境を創る」「共に学び、楽しみ、活動する生涯学習社会を創る」が示された。

このように「かわさき教育プラン」を踏まえて、具体的な場(学校等)においてどのように一人一人がいきいきと輝く教育を実現していくのか、また「かわさき教育プラン」がめざす方向性を明らかにするための一助となるよう研究を推進する。

「かわさき教育プラン」の目標にある「一人ひとりがいきいきと輝く学習社会を創造する」などを受け、昨年度に引き続き、実践研究総括主題を以下のように設定する。

**「一人一人がいきいきと輝く川崎の教育の創造」**

また、キーワードとして「自ら学ぶ」・「共に学ぶ」・「学び続ける」の 3 つの視点をこれまで通りに継承し、実践研究を推進するが、キーワード並びにその考え方は、新学習指導要領の趣旨や内容に沿って、見直しを図っていくものとする。

# 川崎市総合教育センター 平成21年度研究体系図

○多様化する価値観の中で、子どもと大人が共に生き、一人ひとりがいきいきと輝く学習社会を創造する。  
 ○地域の学習のネットワーク化を支援し、地域教育力の向上へつなげる。

生きる力を支える確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた育成

かわさき教育プランの目標及び重点施策・基本施策

## 総合教育センター研究

### 研究総括主題：一人一人がいきいきと輝く川崎の教育の創造

#### 政策課題研究

- 本市の教育施策及び教育課題等に関する企画・立案
- 教育課題への対応、教育施策の推進
- 指導主事研究プロジェクト
  - ・全国学力・学習状況調査検証改善に関する研究  
新垣・明瀬・榎原
  - ・学校評価支援に関する研究  
江尻・小松・佐藤利・辰口
  - ・小中連携・中高一貫教育に関する研究  
藤中・網屋・荒井利
  - ・教育・保育計画案作成研究 (2-2)  
根津・桜井

#### 共同研究

- コンピュータ教育利用共同研究(下沼部小) 増田実
- 指定都市共同研究 佐藤公  
(指定都市教育研究所連盟) 第16次担当者会 大内
- 全国教育研究所連盟 佐藤公
- 神奈川県教育研究所連盟 佐藤利  
研究発表業務 関係業務 発表3本(服部 谷澤 吉田)
- 関東教育研究所連盟事務局 布川 荒井利 後藤

#### 調査・基礎研究

- 教育活動及び児童生徒の実態に係る調査研究
- 指導主事研究プロジェクト
  - ・川崎市小学校5年生・中学校1年生における学級風土と教師の実践知についての研究(2-2)  
佐藤公・橋谷・後藤・(大内・川崎・布川)
  - ・不登校未然防止に向けての支援プログラムの作成(2-1)  
尾立・松崎・新井
  - ・情報モラル教育の推進(1-1)  
増田実・金野・小松良・樋口
  - ・特別支援教育体制充実事業調査基礎研究(2-1)  
吉田・増田亨・荒井真・高木・栗山・青木
  - ・幼児教育に関する研究(1-1)  
小林・根津・桜井
- ※(2-2)・・・2年研究の2年目終結を意味します

#### 実践研究

- 各教科等教育活動に係る指導内容、指導方法等の充実・改善を目的とした研究
- 各教科等の教育指導のための教材・資料等の作成・開発を目的とした研究
- 長期研究員・研究員による研究会議
  - <カリキュラムセンター関係>
    - ・国語：黒谷(新垣)聞く意識を働かせる学習指導の研究
    - ・音楽：千葉(川崎)楽しい鑑賞の授業をめざして
    - ・道徳：服部(辰口)自分を見つめる道徳の時間の授業
    - ・特別活動：谷澤(橋谷)自己指導能力を高める学級活動の展開
    - ・小学校外国語活動：轡田(明瀬)コミュニケーション能力の素地を育てる指導
    - ・高校教育：吉田(荒井利)高校生のストレスマネジメントに関する研究
  - <情報・視聴覚センター関係>
    - ・映像制作：鹿島(小松良)学びを促す映像教材の開発
  - <教育相談センター関係>
    - ・学校教育相談：植村(新井)  
子ども同士の学び合いを支える教育相談的なかかわり
- 専門研究員、カウンセラー研究員の研究
  - ・専門研究員による研究：関根(荒井利)  
「話す」「話し合う力」の向上をめざす国語科学習指導
  - ・カウンセラー研究員による研究：高宮(松崎)  
一人一人を大切にする教育相談の可能性
- 指導主事・研究員による研究会議
  - ・健康教育：後藤 自分のからだを把握し、伝えることができる健康教育
  - ・国際理解教育：佐藤公  
人とのかかわりを通して、国際教育がめざす資質・能力を育てる授業のあり方
  - ・教育資料収集：小松典 教育センターとしての教育資料収集のあり方を探る
  - ・ICT教育利用：樋口 児童生徒のICT活用を高めるための手立て
  - ・特別支援教育：荒井真 特別支援学校地域支援部の役割と課題